

# 公安委員会定例会議の開催概要

開催日時 平成30年 1月22日（月） 10時00分 ～ 13時00分

## 1 議題事項

なし

## 2 報告事項

### (1) 公安委員会に対する苦情申出書の受理について

県警察から、「1月17日、公安委員会宛ての苦情申出書を受理した。今後、関係課で所要の調査を行い、公安委員会から文書で回答する。」旨の報告があった。

委員から、「事実確認をしっかりと行っていただきたい。」旨の発言があった。

### (2) 平成29年中の生活安全部門の主な取扱状況について

県警察から、「平成29年中のストーカー・DV・児童虐待等の取扱状況は、ストーカーの認知件数が、前年比86件増の182件と大幅に増加し、形態別ではつきまとい等が最多であった。また、DVについては、夫婦間によるものが、児童虐待は心理的虐待が最も多かった。子供・女性に対する前兆事案認知状況は、子供対象の声かけ、不審者が大幅に増加し、青森市、八戸市、弘前市における被害が全体の68%を占めた。少年非行は、刑法犯少年は194人で、昭和23年以降最少を記録し、再犯罪種は窃盗が72.3%と最多であった。110番の総受理件数は、46,873件で前年に比べやや減少し、一日平均約128件であった。有効受理件数は、38,781件で交通関係が全体の44.4%と最多であり、緊急の対応を要しない各種照会は16.1%であった。」旨の報告があった。

委員から、「児童虐待は、児童相談所との連絡調整が必要である。」旨の発言があり、県警察から、「今年度から、児童相談所へ警部補一人を出向させ、連絡体制を強化している。」旨の説明があった。

### (3) 平成29年の犯罪統計について（暫定値）

県警察から、「平成29年の犯罪統計について、暫定値であるが、刑法犯認知件数、検挙人員は減少し、検挙件数は増加、検挙率は微増した。殺人、強盗などの重要犯罪は、認知件数、検挙件数、検挙人員は増加し、検挙率は上昇した。侵入窃盗、自動車盗などの重要窃盗犯は、認知件数、検挙人員は減少し、検挙件数は上昇した。」旨の報告があった。

委員から、「検挙率が上昇したことは、各職員が頑張った結果の現れだと思う。引き続き事案発生時、早期に対応していただきたい。」旨の発言があった。

### (4) 平成29年中における特殊詐欺の取扱状況について

県警察から、「平成29年中における特殊詐欺の認知件数は56件で3年連続で減少し、被害金額は約7,200万円と大幅に減少した。手口別では、架空請求詐欺が多く、全体の約6割を占めた。検挙件数は大幅に増加したが、検挙人員は減少した。抑止対策として、高齢者世帯への巡回連絡や民生委員、保険外交員、福祉関係職員等と連携した注意喚起、金融機関、コンビニ、宅配業者との更なる連携強化等行った。」旨の報告があった。

委員から、「引き続き金融機関と連携を密にし、抑止対策を強化していただきたい。」旨の発言があった。

**(5) 第36回鑑識研究発表会の開催について**

県警察から、「2月5日、警察本部において、科学捜査力の強化を目的に、「第36回鑑識研究発表会」を開催する。発表作品は、31作品で実用性・独創性・難易性について審査し、優秀作品は、警察庁が主催する現場鑑識研究会等へ出展する。過去には平成19年に本県で開発した、「スノー被膜スプレー」が警察庁長官賞を受賞している。」旨の報告があった。

**(6) 不正アクセス禁止法違反・電算詐欺事件の検挙について**

県警察から、「平成29年8月7日、青森市内において発生した不正アクセス禁止法違反・電算詐欺事件について、被疑者を本年1月10日検挙した。」旨の報告があった。

**(7) 殺人未遂事件被疑者の逮捕について**

県警察から、「1月17日、深浦町内において発生した殺人未遂事件について、被疑者を1月18日、緊急逮捕した。」旨の報告があった。

以 上